

60・お話あそび会動画解説3 《年長組》

原町幼稚園園長 鶴谷主一（静岡県沼津市）

《マガジン58、59号に続き第3弾。年長組の動画解説です》

以下は、初めてお読みになる方のために再掲しています。前の号をお読みになった方はとばして下さい。

1991年から「生活発表会」に疑問を感じて発表会の形を変え→「劇あそび会」→試行錯誤しつつ1995年から「お話あそび会」という名称を使い始めて今年度で29年。マガジン24（2016年3月号）～26号に取り組みをレポートしてから方針は変わっていませんがやり方はいろいろ進化してきました。保育者のキャリアが延びてノウハウが蓄積されてきた感があり、1年でいちばんタイヘンな活動ながらも、園児の人数が減って職員数は増えてきたお陰でサポート態勢も充実し、以前のようにプレッシャーのかかる活動ではなくなった気がします。

成熟期を迎えたのかもしれませんが。マンネリは後退のはじまりですから気をつけていかねばと思っています。自分たちの未来のためにもこの活動を記録していく必要があると感じ、さらに従来の発表会に何かしらの疑問をお持ちの方、保育を変えていきたいという思いをお持ちの保育者の方にも参考にして頂けたら幸いです。そんなことを考えて動画を紹介します。

「お話あそび会」は、子どもたちが楽しいのはもちろん、指導する保育者は練習練習の呪縛から解放され（違う意味での苦労はありますが）、保護者への視点を変えることで子ども本来の表現力に目を向けてもらえるアピール力もある活動です。

「お話あそび会」の詳しい取り組みについては、以前のレポートを参照していただければ、概要はお分かりいただけると思います。

◆マガジン24号「発表会の意味とは？」

保育施設で年間行事として行われる「発表会」表現活動としての意味は？

発表という舞台に追い込まれる先生、追い込まれる子どもたちの構造について考える。

▶<https://www.humanservices.jp/wp/wp-content/uploads/magazine/vol24/13.pdf>

◆マガジン25号「お話あそび会実践レポート」

お話あそび会の園内提案（計画書）を紹介し、取り組みへの具体的な内容をレポート。

この内容を頭に入れつつ動画をご覧いただくと良いと思います。

▶<https://www.humanservices.jp/wp/wp-content/uploads/magazine/vol25/14.pdf>

◆マガジン26号「保護者への伝え方」

新しく行事を改革するときには保護者への説明と共感を引き出すことは必要不可欠になります。具体的なクラス便りなどを紹介して、その方法をレポート。

▶<https://www.humanservices.jp/wp/wp-content/uploads/magazine/vol26/12.pdf>

この活動は保護者の理解が要になります。

3学期当初の保護者会ではそのことにエネルギーを費やします。

※保護者会資料から

【1】原町独自の活動 お話あそびとは？

「お話あそび会」は絵本、モーリスセンダック著「かいじゅうたちのいるところ」からインスピレーションを受けて生まれてきました。あのお話をご存じの方は思い浮かべて下さい。

主人公のマックスがお母さんに叱られて部屋に閉じこもったときに、部屋がファンタジーの世界へと次々と変わっていきます。マックスの想像が広がってきたのかもしれませんが、あくまでもマックスの頭の中を我々が絵本で覗いていたのかもしれませんが。お話あそび会は、**会場をマックスの部屋のように「お話の世界で満たして」**その中で子どもたちに**「なりきって遊んでもらおう」**という意図があります。

テレビや映画のような大がかりな設定は不可能ですが、出演する子どもたちはもちろん、観客の皆さんも**自身の想像力を高めて**、限られた空間の中でお話の世界へ誘（いざな）い一緒に楽しめることを目指します。



●具体的には

絵本などの〔お話〕をモチーフにして、

原本の楽しさを尊重しつつ、クラスの子どもたちが活躍できる演劇の台本に仕立て上げます。

担任は昨年から「クラスの子どもたちと、どんなお話で楽しもうか…」と考えてきています。そして、そのイメージを子どもたちが受け取り、それぞれが登場人物の役割を担って、自分たちのアイディアも（少し）出しながらみんなで楽しく表現してあそぼ！というところまでもっていければ活動としてはかなりいいセンいってます。

【2】それで何を育てたい？

子どもたちにとっては、「あ～楽しかったね！」でもじゅうぶんいいんです。

子どもたちは活動を通して「こういうときはこうしたほうがいいんだ！」という気づきを経験し、それぞれ自分の成長の糧にしているはずですし、それは全員一緒になくて良いと思っています。（例えば、協調性が促進された、自分の殻をやぶれた…など）

しかし、我々大人のために教育的目的も押さえておきましょう。

こんなことを身につけてほしいと願っています

①ファンタジーを楽しむから

②じぶんを表現するから

③イメージするから

} これらが表現のベースになると考えます！

【3】お話あそび会を更に解説👉人生を生き抜く力！？

お話あそび会は「演劇活動を通して子どもたちのイキイキした姿や成長を見せる場」です。また、登場人物になってロールプレイを体験することにより、登場人物の状況や心情をより理解できる「想像力」も育っていきます。すなわち、人の気持ちが良くわかる人！になるという育ちも期待しています。**しかし、練習は楽しくないと意欲的に取り組みません。**



「楽しさ」は、「ハイやりますよ、つぎ覚えて！ほら言う通りにしっかりやって！」なんて姿勢の保育では生まれてきません。子どもの中に意欲の炎が燃えていないとダメなのです。そして意欲の炎を燃やすためのエネルギーは「**みんなで一緒に楽しむこと**」なのです。



▶楽しくお話をあそぶ中で自信も育つ！

役になって壮大なごっこあそびを楽しむことができる。
自分も気づかなかった自分を、いつもの自分とちがう役で表現できる。
自分が考えたことや、表現したことが肯定される。発案することが受け入れられる経験。
…そんなプロセスを通して、最終的に**満足した表現ができると自信につながります。**



▶自信や楽しさは次の一步を踏み出す意欲を生むのです！

それは、お話あそび会が終わっても普段の子どもの行動に反映されていきます。
自分の内から湧いてくるエネルギー（楽しい！もっとやりたい！）を持った人は、苦労や障害を乗り越えていく力、大切な生きていく力も身につけていくと信じています！

たとえば(へへ)/ お話あそび会とそうじゃない会の比較シチュエーション！

今日は〇〇シーンの練習しますよー ハイ！	今日は〇〇シーンのお話あそぶよー ハイ！ なすりでいます
やってる途中で子どもがオモシロいこと思いついちゃってつい、やっちゃいました。	アハハおもしろいね アハハふざけてるー こんなのどう？ しかられちゃうぞ... お話あそび会ではフレキシブルに子どもたちのアイデアも取り込んでみんなで楽しめる劇を目指します。
はい、おもしろかったね。じゃ、練習に戻るよ。えーっと、シナリオではそこで、このポーズやっ！ はいっ しっかりおぼえなくちゃ まちなよー	おもしろいねー！みんな、○ちゃんのコレどう？ いいねいいね！これやろうよ！ え！やっていいの？ たのしー
ちまきおあやがうつつたえはた... でしまふ、まかつがたりすに よしせんかかせたせい！なにくて	あ、こんどはあはなかし ちかいもやんがことたえ やもたのうかつたー

似てるようですが、子どもの内面の動きは全然ちがうのです。

◆保育者向けには、「年長組の取組」として以下のような資料が用意されています。

**見せることを前提として構成、演出を考え、保育者のイメージを受けて、それを受け入れたり、
反発したり、更に子どもからのアイディアをシナリオに盛り込みながらダイナミック*でアイ
ディアがいっぱいの楽しい劇を展開させる。**

*ダイナミック＝動きがあり迫力がある、動と静のメリハリがある、テンポがよく引き込まれる

練習段階では保育者が前面に出て子どもたちを引っ張っていくことが求められます。子どもから出てくる表現を待つのではなく、子どもたちに「どんなお話あそびをしたい？」と問いかけたり保育者の「このお話でこんなお話あそびはどう？」という提案を受けて、子どもたちが自分の思いつきや意見を言いながら、たとえ保育者の考えと違っていてもそれが良いものなら積極的に取り入れたり、ここは！というところは保育者の意見や演出に納得してもらったりしながら次第に劇を構成していきます。

子ども自身もまとまっていらない考えや、潜在的な表現力を引き出し、「やりたい！」という楽しさを発生させるパワーが求められます。シナリオの7割は先生、3割は子どもたち、というイメージでシナリオ作りを進めます。そして本番では、先生は伴走や演出にまわり、子どもたちだけでお話あそびを展開できる完成形を発表します。

▶そして、今回紹介する今年度のお話あそび会「となりのトロ」ですが・・・

年長組は、保育者の嗜好もあって近年ディズニーアニメをモチーフにしてきた題材が多かったのですが、今回紹介する「となりのトロ」はこの路線からもとびだして「ついにジブリまできたか！」というインパクトがありました。しかも子ども発信で題材が決まったようです。年中組の音楽会でトロの曲を演奏したことがテーマの選択に影響したのではないかと推測しています。

※お話あそび会特集号表紙

年少組
「おにのおにぎりや」
2025年1月21日(火)
10:10開始

年中組
「赤ずきん」
2025年1月29日(水)
10:10開始

年長組
「となりのトロ」
2025年2月5日(水)
10:10開始

★その日の解説をしますので、開始時には必ず会場にお入り下さい。

★お話あそび会の日には平常保育です。あそびっこも平常です。

★参観はお子さんのクラスは必須。他クラスも参観可能です。

★撮影は可能ですが、劇中リアクションが必要な場面もありますのでその場合はリアクション優先をお願い致します。動画はビデオライブラリー対象写真は園で撮影します。

☆欠席が多いときは、配役等変更することもありますのでご了承下さい。

はらまちようちえん

ファンタジーへのお誘い

幼稚園からは、毎月「こどものとも」を持って帰ります。保護者の皆さんに「毎月買ってください」とお願いしている訳ですが、こどものともは基本的にものがたり絵本です。子どもたちが自分の「ものがたり絵本」を手にとって、先生やお母さん、お父さんに読んでもらうという経験をしてほしいのは、ファンタジーを楽しむ心が育って欲しいからです。

ものがたり絵本は、事実を基にしたものもあるし、作家さんの頭の中で生まれた空想をそのまま描いてある場合もありますが、いずれにせよ子どもが絵とことばを自分の頭の中でミックスさせて、登場人物を動かし、絵に描いてあること以外までも想像して話を膨らませて楽しむことが、想像力の発達…人の成長や将来にとって、とても大切なことだと思います。

動画やデジタル絵本では作られた刺激が多すぎて、子ども自身も頭の中で作業する時間（脳を働かせる時間）が圧倒的に少ないため、発達途上の子どもには適していません。業務管理や仕事効率化をはじめ、社会を構築する随所にAIが関わり、人がやっていた作業もロボットが担ってくれる社会がすでに始まっています。人間は関きと人間らしい想像&創造力で仕事をしていかなければ仕事は無いと言われていて、そのために絵本を読むという呼びかけも、ちょっと違う気もしますが、想像力のベースを育てるには絵本やお話はとても有効。そんな側面もあるのです。

そんな時代にどう子どもたちを育てていくのか、というのは今日の課題ですが、約30年前から原町幼稚園ではお話あそびに取り組んできました。自分たちでファンタジーの世界を作り上げ、その中で楽しんじゃおうよ！というのが「お話あそび会」の第一の目的です。子どもたちは、はんぶんホンキ、はんぶんうそこの気持ちを行ったり来たりしながらお話を遊びます。年齢が低いほどホンキの部分が大きくなります。

ファンタジーを楽しめずに、ストーリーをつなぐ台詞や動きだけをなぞって「劇」をやってしまうと、粗筋はわかるけど面白味の無い劇になってしまうがちなのです。粗削りでも、バタバタでも、ハプニングがあってもいいです！チームとちいさくまとまり、子どもたちがイメージを共有し、先生と自分たちで考えた「お話」を楽しんで表現してほしい！というお話あそび会のキモです。ご覧になる皆さんも、想像力をフルに発揮して！子どもたちのつくるファンタジーの世界へあそびにおいで下さい！

原町幼稚園 園長 鶴谷主一

◆資料（舞台図とシナリオ）

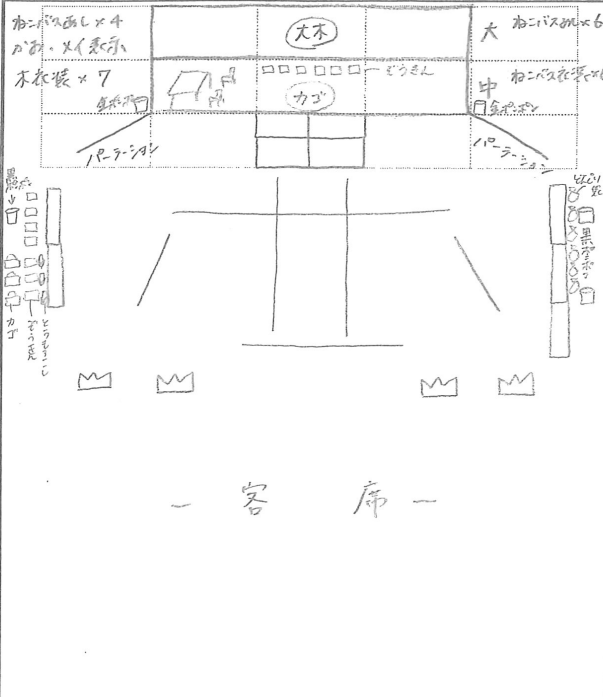
実際にご覧いただく動画の資料です。今回は動画に解説コメントは付けていません。担任は、舞台の構成からシナリオ、演出、衣装に大道具小道具、音楽まで決めていきます。創造的な活動になりますので、いままで行ってきた園の蓄積の中から選んだり、アレンジを加えたりしながら作っていきます。

今回は前例のないテーマなので、一から考えていくことになりましたが、年長2クラスを実質1つにまとめて、2人担任（学年担任制）で運営していくので、2人が核になって仕事を分担し、補助で関わる職員等に相談しながら進めてきました。ミュージカル仕立てになっていたのも、音楽は重要なファクターになりますが、電子ピアノを活用して、データ入りを打ち込んで作ったり、既製品を購入したりして使っています。メジャーなアニメだったので曲が豊富にあったことは助かったと担任が言っていました。

お願いします

2024 年度 お話あそび会舞台図 (年長 組) 提案日 2/3 (試案 最終版)

テーマ となりのトロ	実施日時 2/5 10:15~	年長児/25名	担任 藤原・伊野
	伴奏 藤原	補助 伊野、真野、小宮山、リナ	



■道具/出す場面ごとに記入

■場面の大きな流れと道具の出し入れ、補助等について箇条書きにしてください。

- ① ひっこし
父「次は2階をたのびろー！」
→ サイドライト off, ON
スレージャー・グレイ・イス out
かんた「おこれろー！」→ きがえ
- ② トロとのおあい
父「おどりのおどろろろー！」→ きがえ
スレージャー上 off, ON
「いっしょにあそび！」→ ぽじ in
ゲーム終了後 out
- ③ 夜
ステージ下、サイドライト ON, off
大木曲と英 in, out
かんた、父 木から着がえ
- ④ まいご
かんた、父・小トロ → ねこバスに
着がえ
- ⑤ ねこバス
ステージ上ライト ON, off
- ⑥ エンドロール
かんた、父・小トロ → 早きがえ
「お・し・ま・い」パネル in

① 机・イス out

② ねこバス入水用 ぽじ in, out

③ 大木 in, out

④ ~ ⑥ 大道具は出し.

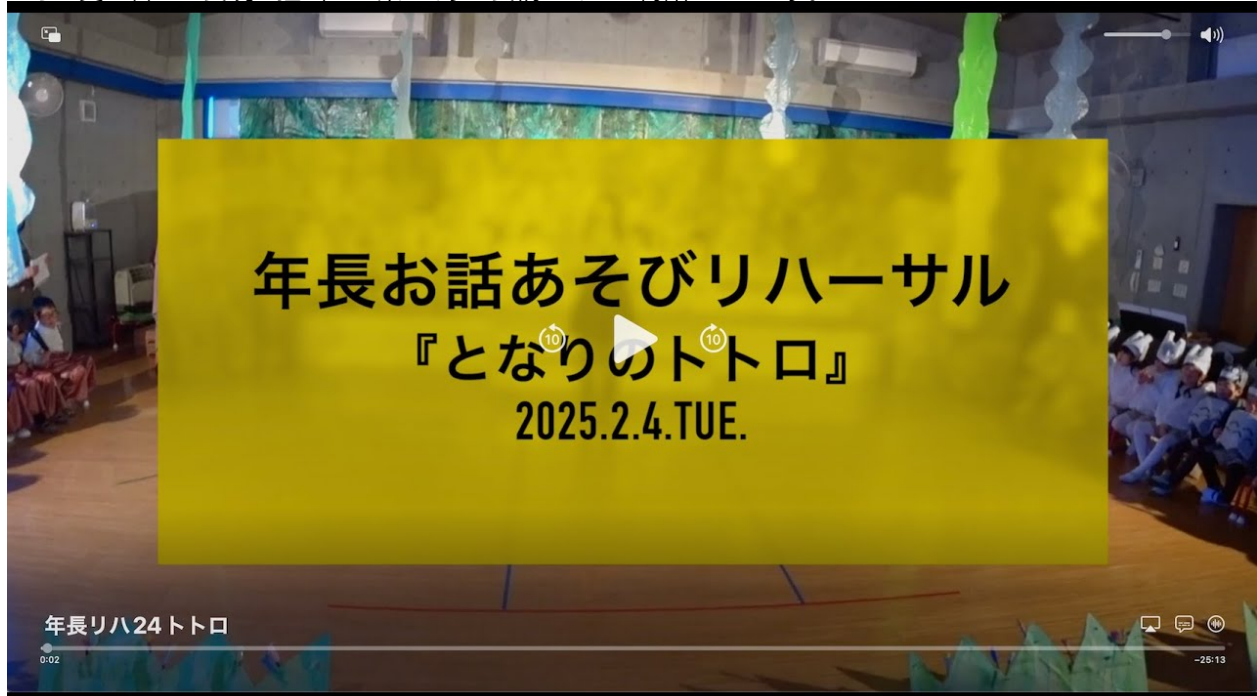
組〔担任篠原・佐野〕

No組〔担任〕No.63

■2024年度年長組 お話あそび会前日リハーサル■

『となりのトトロ』

本番前日に、他クラスの子どもたちにお客さんになってもらってリハーサルを行います。
子どもたちがよく知っているお話だったので、やりたい場面、演技方やセリフなども相談を重ねて「見てもらうこと」をとても楽しみに練習（遊んで）しました。表現の苦手な子どもたちも多い学年でしたが、それぞれの身の丈に合った表現を担当し、楽しそうな表情がそれを物語っています。



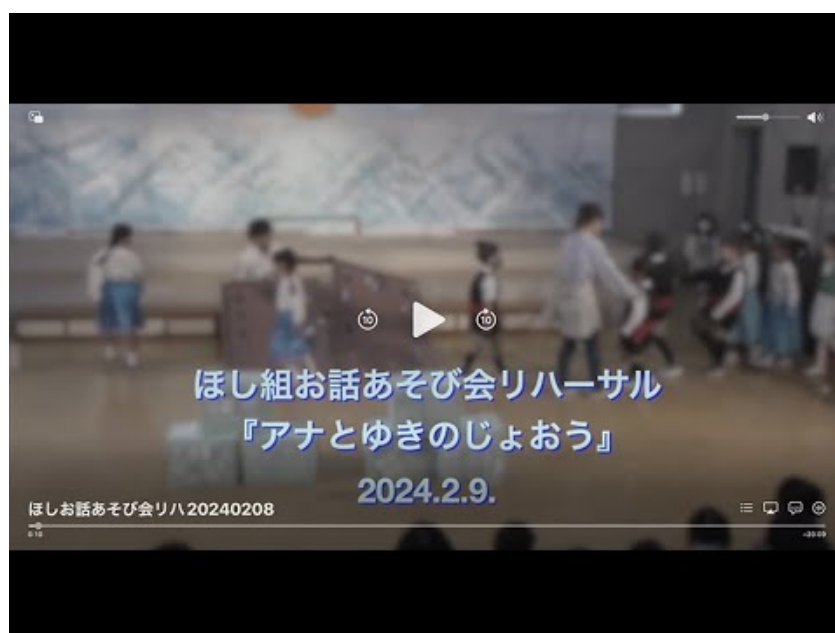
YouTubeが再生されないときはこちらのURLをブラウザにコピーして下さい。

<https://youtu.be/LB8eV8N1q1U>

クラスやテーマによってぜんぜんテイストの違う表現活動になるのもお話あそび会ならではの楽しみ。比較してみると興味深いかもしれませんので、昨年度の1話もリンクしておきます。

■2023年度年長ほし組 お話あそび会前日リハーサル■

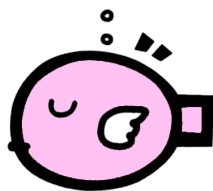
『アナとゆきのじょう』



「幼稚園の現場から」ラインナップ

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1号 エピソード (2010.06) | 32号 幼稚園の音楽教育 (その3・コード奏法) 2018.03 |
| 2号 園児募集の時期 (2010.10) | 33号 (休載) |
| 3号 幼保一体化 (2010.12) | 34号 働き方改革・一つの指針 (2018.09) |
| 4号 障害児の入園について (2011.03) | 35号 働き方改革って難しい (2018.12) |
| 5号 幼稚園の求活 (2011.06) | 36号 満3歳児保育について (2019.03) |
| 6号 幼稚園の夏休み (2011.09) | 37号 満3歳児保育・その2 (2019.06) |
| 7号 怪我の対応 (2011.12) | 38号 プールができなくなる!? (2019.09) |
| 8号 どうする保護者会? (2012.03) | 39号 跳び箱 (2019.12) |
| 9号 おやこんぼ (2012.06) | 40号 幼稚園にある便利な道具〈紙を切る〉 (2020.03) |
| 10号 これは、いじめ? (2012.09) | 41号 コロナ休園 (2020.06) |
| 11号 イブニング保育 (2012.12) | 42号 コロナ休園から再開へ (2020.09) |
| 12号 ことばのカリキュラム (2013.03) | 43号 ティーチャーチェンジ (2020.12) |
| 13号 日除けの作り方 (2013.06) | 44号 除菌あれこれやってみた (2021.03) |
| 14号 避難訓練 (2013.09) | 45号 マスクと表情 (2021.06) |
| 15号 子ども子育て支援新制度を考える | 46号 感染予防と情報発信 (2021.09) |
| 16号 教育実習について (2014.03) | 47号 親子ソーラン節 (2021.12) |
| 17号 自由参観 (2014.06) | 48号 親子コンサート (2022.03) |
| 18号 保護者アナログゲーム大会 (2014.09) | 49号 うんちでたー! (2022.06) |
| 19号 こんな誕生会はいかが? (2014.12) | 50号 子どもが育つ園庭・その1 木登りとブランコ (2022.09) |
| 20号 I Tと幼児教育 (2015.03) | 51号 子どもが育つ園庭・その2 砂場 (2022.12) |
| 21号 楽しく運動能力アップ (2015.06) | 52号 子どもが育つ園庭・その3 スライダーと Tonka (2023.03) |
| 22号 (休載) | 53号 リスクと安全・園庭編 (2023.06) |
| 23号 大量に焼き芋を焼く (2015.12) | 54号 夏の音楽会・動画 (2023.09) |
| 24号 お話あそび会その1 (発表会の意味) 2016.03 | 55号 クリスマス劇・動画 (2023.12) |
| 25号 お話あそび会その2 (取り組み実践) 2016.06 | 56号 こいのぼり製作 (2024.03) |
| 26号 お話あそび会その3 (保護者へ伝える) 2016.09 | 57号 この頃、気になること (2024.06) |
| 27号 おもちゃのかえっこ (2016.12) | 58号 お話あそび会動画解説《年少編》 (2024.09) |
| 28号 月刊園便り「はらっぱ」 (2017.03) | 59号 お話あそび会動画解説《年中編》 (2024.12) |
| 29号 石ころギャラリー (2017.06) | 60号 お話あそび会動画紹介《年長編》 (2025.03) |
| 30号 幼稚園の音楽教育 (その1・発表会) 2017.09 | |
| 31号 幼稚園の音楽教育 (その2・こどものうた) 2017.12 | |

▶気になる記事・ご感想質問等ありましたら気軽に連絡ください。✉ office@haramachi-ki.ed.jp



こもれびのなかのおはなし

はらまち
HARAMACHI Kindergarten
est.1957